

2.2. 入院患者の転倒・転落発生率

算式

$$\frac{\text{【分子】 入院中患者に発生した転倒・転落件数}}{\text{【分母】 入院患者延数}} \times 1000$$

(労災病院グループにおけるインシデント・アクシデントレベル3 a以上の事例に限る。)

定義

入院患者の転倒・転落発生割合

指標の解説

施設調査より抽出

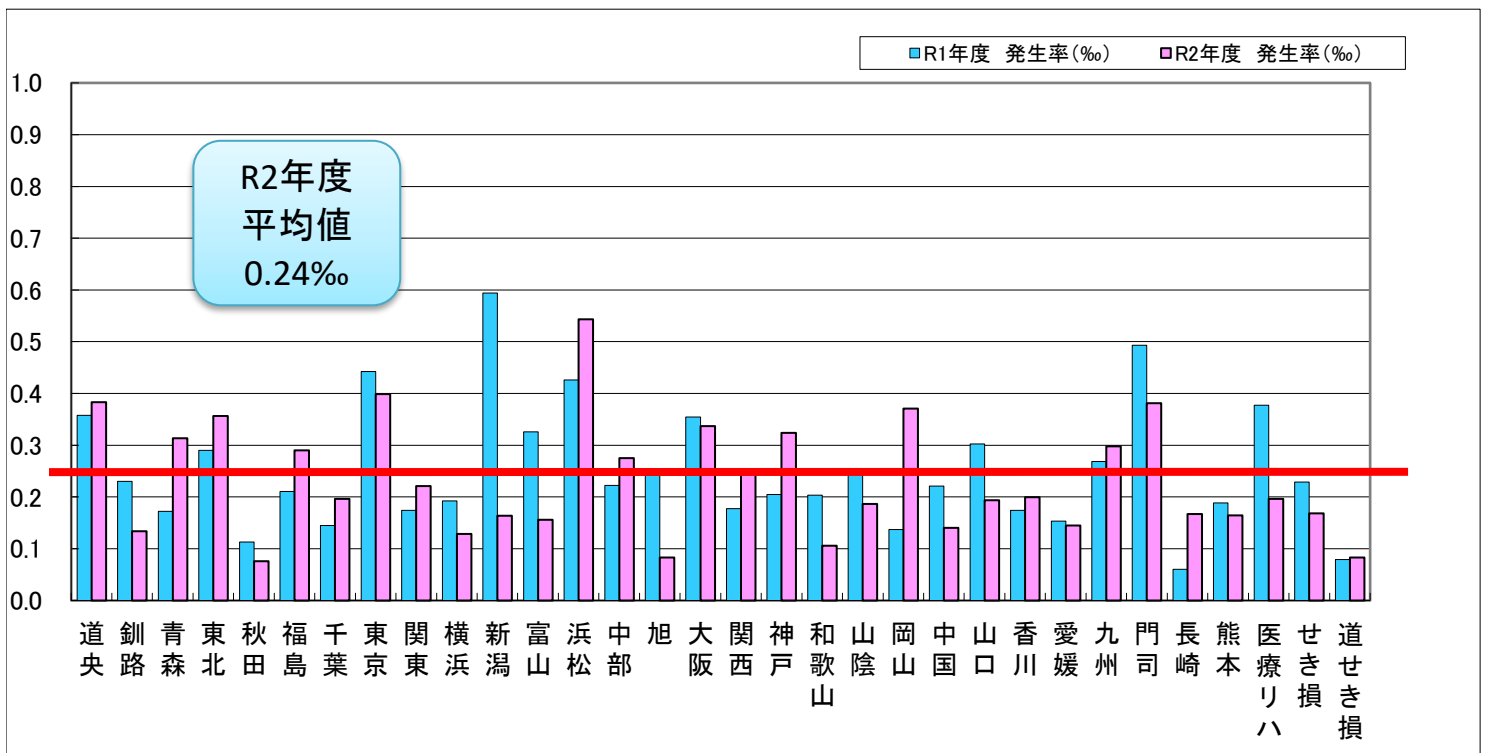
安全で質の高い医療の提供に関して、医療安全対策への取組みについて入院患者の転倒・転落の発生状況から評価する。

インシデント・アクシデント事例の中で転倒・転落件数が最も多く、各病院では医療安全対策の取組みとして転倒・転落のリスクをアセスメントして予防策を立案・実行している。

転倒・転落発生率が低い場合には、転倒・転落予防に積極的に取り組み、またその効果が表れていると評価できる。

※ ‰ = 1000分の1

2.2. 入院患者の転倒・転落発生率



No	施設名	R1年度			R2年度		
		分母	分子	発生率(%)	分母	分子	発生率(%)
1	道 央	55,885	20	0.36	46,998	18	0.38
2	釧 路	125,929	29	0.23	119,593	16	0.13
3	青 森	69,766	12	0.17	70,162	22	0.31
4	東 北	141,343	41	0.29	131,942	47	0.36
5	秋 田	44,240	5	0.11	39,502	3	0.08
6	福 島	99,768	21	0.21	93,110	27	0.29
7	千 葉	117,517	17	0.14	112,064	22	0.20
8	東 京	115,288	51	0.44	87,762	35	0.40
9	関 東	178,257	31	0.17	153,734	34	0.22
10	横 浜	192,170	37	0.19	163,321	21	0.13
11	新 潟	43,782	26	0.59	36,668	6	0.16
12	富 山	76,774	25	0.33	70,431	11	0.16
13	浜 松	91,548	39	0.43	84,645	46	0.54
14	中 部	153,040	34	0.22	141,743	39	0.28
15	旭	70,857	18	0.25	60,210	5	0.08
16	大 阪	194,674	69	0.35	175,054	59	0.34
17	関 西	197,148	35	0.18	187,598	46	0.25
18	神 戸	92,904	19	0.20	77,247	25	0.32
19	和 歌 山	98,344	20	0.20	94,438	10	0.11
20	山 陰	112,820	28	0.25	96,488	18	0.19
21	山 陽	102,357	14	0.14	91,730	34	0.37
22	中 国	117,720	26	0.22	106,902	15	0.14
23	山 口	95,934	29	0.30	82,697	16	0.19
24	香 川	126,370	22	0.17	120,072	24	0.20
25	愛 媛	58,583	9	0.15	55,252	8	0.14
26	九 州	137,682	37	0.27	117,475	35	0.30
27	門 司	60,860	30	0.49	49,819	19	0.38
28	長 崎	99,674	6	0.06	89,731	15	0.17
29	熊 本	132,510	25	0.19	127,642	21	0.16
30	医 療 八	31,816	12	0.38	25,440	5	0.20
31	せ き 損	48,069	11	0.23	47,566	8	0.17
32	道 せ き 損	37,807	3	0.08	35,995	3	0.08
合 計		3,321,436	801	0.24	2,993,031	713	0.24
平均	500床以上	176,105	41	0.23	158,899	41	0.26
	400床以上	125,917	32	0.25	113,241	24	0.21
	300床以上	101,207	21	0.21	91,350	24	0.26
	300床未満	54,404	16	0.29	48,913	10	0.20